

学研 おんがく通信

Web版も
お楽しみ
♪バックナンバーが
閲覧できる!
♪ウェブならではの
情報が満載!

1月号

2012
年
12月
25日

Gakken

(株)学研パブリッシング 音楽出版事業室
〒141-8412 東京都品川区西五反田2-11-8
Tel. 03-6431-1220

学研 おんがく .net http://gakken-publishing.jp/ongaku/ 学研 電子ストア http://ebook.gakken.jp/gstore/

いよいよ2013年!今年 Anniversary Yearを迎える作曲家といえば、ヴェルディ(生誕200周年)、ワーグナー(生誕200周年)、マスカーニ(生誕150年)などなど。これらの作曲家にちなんだ演奏会もたくさん開催されることでしょう。この3人の名前を見ていると、なんだかオペラが見たくなってきますね。今年こそは、ヨーロッパ旅行&現地オペラ鑑賞、美味しいイタリアのピザやドイツビール!あれあれあれ?夢はどんどん膨らみます。ああ、お年玉、ほしいなあ…(め)

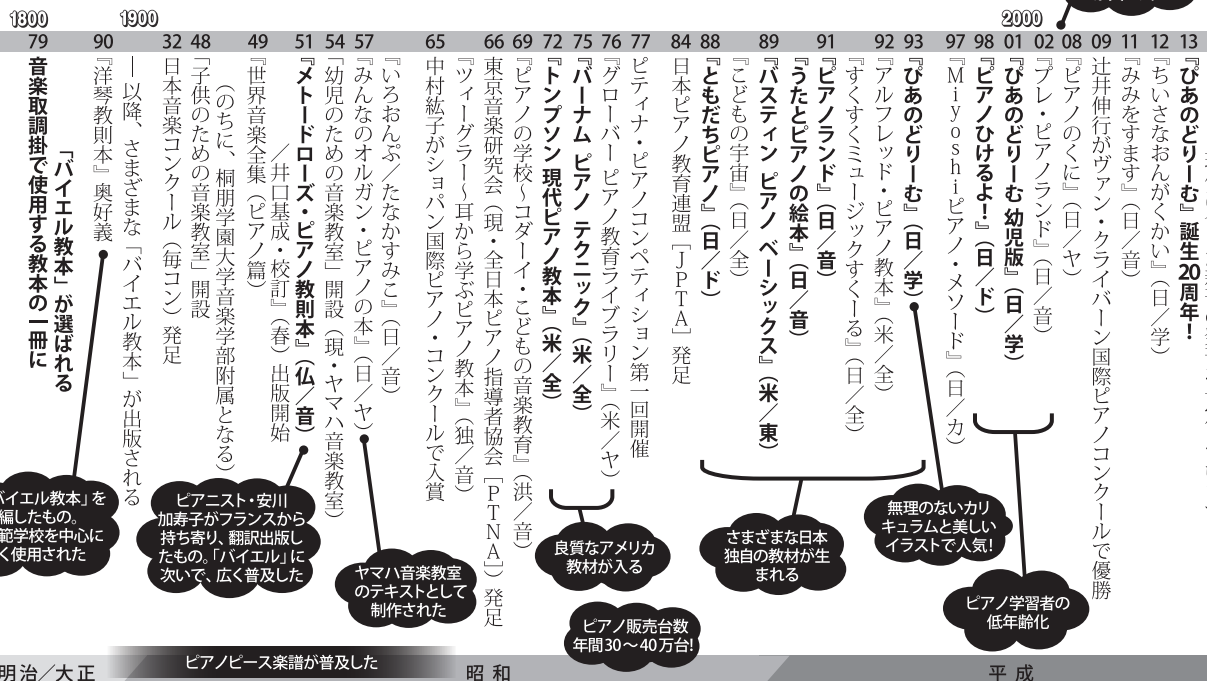
時代を知る③-ピアノ教本

2013年、『びあのどリーむ』は発刊20周年を迎えます。おかげさまで、全国のたくさんの先生、生徒さんたちにお使いいただいています。この場をお借りして、皆さまに御礼申し上げます。

さて、今回は、ピアノ教本の歴史を振り返ってみましょう。テクニックをつけるための「ピアノ教本」と、音楽の基礎を学ぶ「バイエル教本」とがありますが、今回は後者に絞ってみました。文部省(現・文部科学省)の音楽取調掛・伊澤修二が日本に「バイエル教本」を持ち帰ってから130年以上。それぞれの時代に合わせてさまざまな教本が出版されています。

皆さまがレッスンで使用されている教本は何ですか?習った教本は何ですか?

…そして、これからはどんな教本が登場し、ピアノ指導はどのように変化していくのでしょうか?



【キーワード】

音楽取調掛/バイエル/伊澤修二/メーソン/いろおんぶ/リトミック/ソルフェージュ/絶対音感/音楽教室/ピアノ・コンクール/習いごと/ハノン/チェルニー/ブルクミュラー/ソナチネ・アルバム

<略表記>『教本名』(国/出版社)

【国】日:日本 独:ドイツ 仏:フランス 米:アメリカ 洪:ハンガリー

【出版社】音:音楽之友社 全:全音楽譜出版社 ヤ:ヤマハミュージックメディア 春:春秋社 ド:ドレミ楽譜出版社 東:東音企画 学:学研パブリッシング カ:カワイ出版

びあのどリーむ
20th Anniversary

びあのどリーむ情報

A Happy New Year & A Happy Anniversary「びあのどリーむ」20th!!

いよいよ2013年。「びあのどリーむ」シリーズ発刊20年 Anniversary Yearの幕開けです!

田丸信明先生の「初めてピアノに向かう子どもたちの、ちょっぴり不安を秘めた夢や希望を、真綿のような暖かさで優しく包んであげたい…」という想いと、30余年のピアノ教育活動のすべてが結実したこのシリーズ。コンセプトはもちろん、『夢いっぱい、楽しく、親しみやすく』です。

おかげさまで20年間での累計発行部数も500万部を突破!!これも、ひとえにお使いいただいているピアノ指導者の皆さま、そして生徒さん=「どリーむっ子(!?)」の皆さまのお力があってこそ。本当に、心から感謝を申し上げます!

そして、さらに多くの皆さまに「びあのどリーむ」をもっと知っていただけるよう、20周年を機に「テキスト」「ワークブック」「レパートリー」を1冊で手軽に体験していただける「お試し版楽譜」を制作いたしました!「びあのどリーむ」のカリキュラムやシリーズ体系、そして田丸信明先生の理念をたくさんの方に体感していただけると嬉しいです♪お近くの楽器店でぜひお手にとってみてください! (か)



1月31日はシューベルト(1797-1828)のお誕生日!

シューベルトに「ます」という曲がありますよね。まずは歌曲のほうの「ます (D550)」, 2年ほどのちに室内楽の「ます (D667)」が作曲されました。どちらも群にぬきんでた傑作です。もちろん「ます」とは鱒のことです。鱒はサケ科のサカナで、大雑把にいうと海に出ていくのが鮭で、海に下らない陸封型が鱒でしょうか。でも「樺太鱒 (カラフトマス)」は海に下るサケです。ちょっとややこしいですね。わたしたちが普通マスといわれて思いえがくのは、たぶんニジマス (虹鱒) じゃないでしょうか。スーパーなどの鮮魚売り場でもたまに見かけることができますよね。虹色に光る体をもち、山あいの澄んだ清流を泳ぐ魚影はさぞかし美しいことと思います。シューベルトの「ます」はそのニジマスではありません。ブラウトラウトという種で、ヨーロッパではマスという一般的なにはこちらです。同じ種だからでしょうか、やはり黒斑と朱斑の鮮やかな美しい魚ですが、ひとまわり大きな体長はときに 80 cmにもなるそうです。ずいぶん大きな川魚ですね。

最初に作曲された歌曲の歌詞では、この「ます」はうら若い少女の暗喩 (メタファ) なのです。しなやかでバネのように弾む旋律はそのまま少女の躍動する肢体を連想させますが、最後は釣り人 (いけ好かないナンパ男) に釣り上げられてしまう落ちになっています。

抗いがたい魅力にあふれるその主題を使った室内楽の作曲をシューベルトに依頼した人がいたのです。ピアノにヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバスという異例の編成のピアノ五重奏曲です。シューベルトは第4楽章に「ます」のテーマによる変奏曲をおきましたが、全5楽章を通じて「ます」のイメージが遍し横溢しています。どの楽章も、まるで釣り人 (ナンパ男) から開放されて、清冽な溪流を若い生命をきらめかせて自由に泳ぎまわることとくです。しかしながら、「ます」の主題のようにのびのびとした屈託のない旋律は、シューベルトがその早すぎる死にむかうにつれ、しだいに影が薄くなるように失われていくのです。(え)



♪ジョヴァンニ・バッティスタ・ペルゴレージ (イタリア/作曲家/1710.1.4生)

♪ブラシド・ドミンゴ (スペイン/テノール歌手/1941.1.21生)

♪アルフレッド・リード (アメリカ/作曲家、指揮者/1921.1.25生)

♪フランツ・シューベルト (オーストリア/作曲家/1797.1.31生)

今月の

あかね先生



「リズムを勘でおぼえちゃっている生徒さん…いない？」あかね先生の呼びかけに、セミナーを受講されている先生方の多くがうなずいた、印象的なひとコマです。子どもは真似をすることが得意なので、先生の真似をして勘で弾いていることが多いのだとか。ニュアンスでリズムを感じることも大切だけど、それだけではいつか譜読みができずに困るときがある…。だから、導入期からリズムを学習することが大切なのです。(いも)

今月のセミナースケジュール

1/24 (木) : [埼玉県/越谷] 島村楽器 イオンレイクタウン店 『楽しくおぼえる「おんぶ」のレッスン』

大人の科学×音楽最前線



去る12月1、2日の2日間、東京お台場にある日本科学未来館で、モノ作りが大好きな人たちのためのイベントが行われました。主催はアメリカで Make:Magazine という雑誌を発行するオライリー社です。「Makers Faire Tokyo2012」と銘打ったこのイベントに大人の科学マガジンも出展しました。最新号のテオ・ヤンセン式二足歩行ロボットをはじめ、過去のふるくの実展示を行いました。このイベントは、未来館の1、3、7Fに会場が設けられましたが、7Fには電子楽器系のブースが集まりました。そちらには、ウダーの宇田さんも出展しました。ここでは宇田さんの新作楽器、UFOrgan も展示されました。UFO 型のこの楽器はウダーのコンセプトを持ちながら、それに無限音階オルガンを合わせたもので、触るだけで楽しめる楽器となっています。無限音階というのは、考案者の名前からシェパード・トーンとも呼ばれますが、通常ドレミファと音程が上がっていく音にオクターブ上や下の倍音成分をうまく混合させ、同じドレミファソラドを繰り返しているのに、音程が上がっていくように感じられるというものです。新たな開発から生まれたアイデアは、今後のウダー開発にも取り込めるかもしれません。



今回はみなさんよくご存じの童謡「雪」です。

雪を表現する言葉はたくさんありますね。細雪、淡雪、牡丹雪、名残雪、里雪、雪化粧、雪明かり…。

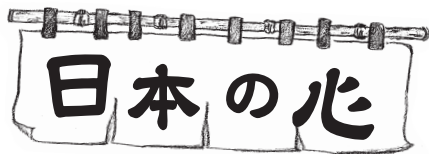
何と美しく風情があるのでしょうか!これらの言葉を

ひとつひとつ見るだけで日本の原風景を彷彿とさせます。雪はまた、文学の世界にも頻りに登場します。三好達治は「太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ/次郎を眠らせ、次郎の屋根に雪ふりつむ」を、川端康成は『雪国』で「国境の長いトンネルを抜けると雪国であった。夜の底が白くなった」を書きました。太宰治「津軽」の巻頭の「津軽の雪/こな雪/つぶ雪/わた雪/みず雪/かた雪/ざらめ雪/こおり雪/ (東奥年鑑より)」も有名です。

さて、童謡「雪」は明治44年(1911年)6月に発刊された『尋常小学唱歌(二)』に掲載され、作者不詳の文部省唱歌として今もなお歌いつがれています。弾むようなリズムが斬新で、喜びに溢れた子どもたちの気持ちがあまく表現されていますね。ところで、歌い出しの「雪やこんこ」を「こんこん」と覚えていませんか? 「こんこ」というのは擬音ではなく「来い来い」という意味。

雪の中をはしゃぎながら「もつと降れ、もつと降れ」と空を見上げる子どもたちの様子が目に浮かぶようです。(く)

*参照『私の心の歌一冬』(学研パブリッシング刊)



日本の心



つむりの練習手帳

今日はぼくのたん生日でした。つむりのレッスンもある日だったから、終わったらみんなでレストランに行くことにしたんだけど、そうしたらつむり、楽しみにしすぎてアセっちゃったのかなぁ。全部の曲を雑にひいちゃって、先生にたくさん注意されたみたい。結局いつもより長びいて、全員おなかペコペコになっちゃった。ぼくは、つむりに「急がば回れ」というコトワザを教えたてくてウズウズしています。(トホホお兄)

つむり現在の楽譜

- ☆こどものハノン④
- ☆バスティンピアノベイシックス1*終わりました!
→ピアノひけるよ! レパートリーB
- ☆こどものバイエル⑦(76番:原曲番号73番)

編集部のつぎは…!

復興特別税が施行になります。被災された方々のために、ちゃんと使われることを祈るばかりです! (@いわ)

Tsubuyaitter.....



Facebookはじめました♪ <http://www.facebook.com/gakken.music>